

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 EXP-R180		S/No.	
お買い上げ年月日		年 月 日	
お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。			
保証期間		対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年	
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	
販売店	店名・住所	TEL ()	
	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。		
故障内容記入欄			

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意事項に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご購入時贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
 - 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - 故障の原因が本製品以外にある場合
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 付属品や消耗品等の消耗による交換
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご購入時贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

EXPARTNER®

1ボディタイプ
GPSアンテナ内蔵レーダー探知機

EXP-R180

取扱説明書



目次

必ずお読みください

本機の機能について	2
安全上のご注意	4
使用上のご注意	6
本書をお読みいただくにあたって	8
本機について	9
同梱品の確認	10
各部の名称と働き	11
別売品のご案内	12

使用の準備

取り付け(本機取付け)	13
取り付け(電源コードの配線)	16
microSDカードの出し入れ	19

取締りのミニ知識

取締りのミニ知識	20
----------	----

基本的な使い方

電源をONにする～出発	22
画面表示について	
待受画面	26
各待受画面の説明	27
アイコン表示について	28

取締りレーダー波を受信すると	30
GPSターゲットに接近すると	32
警報ボイスについて	33
各種無線電波を受信すると	42

カスタマイズ

設定	44
モード設定	45

ity.

ity. データ更新サービス	48
----------------	----

その他

仕様	49
故障かな?と思ったら	50
保証書	裏表紙

株式会社 ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

本機の機能について

必ずお読みください

警報を知る

GPS 46 識別警報

GPSデータ6万6千件以上！
取締・検問データ3万4千件以上！

32 ページ

警報 警告
告知 情報



無線 2 バンド識別警報

42 ページ

警報 警告
告知 情報



レーダー波 3 識別警報

30 ページ

警報



ベストパートナー 2 識別警報

43 ページ

警報



データ更新プラン

毎月最新のGPSデータに更新！
新たに追加された地点でも安心！

48 ページ

※ ity クラブへの入会
が必要です。

最新!

ity.

情報を知る

レーダースコープ機能搭載

ターゲットフォーカスとの組み合わせにより
自車位置とターゲットの位置関係が一目瞭然！

27 ページ



クイック測位対応

最適化されたクイック測位機能により、
自車位置確定が早い。すぐに発進できます。

9 ページ



業界最小コンパクトボディ



投影型静電容量方式タッチスイッチ



11 ページ

必ずお読みください

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

警告

異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがある等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オープンや高压容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

お手入れの際は、シガープラグコードを抜いてください。感電の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。

絵表示について

この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

この記号は、関連するページを示します。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

シガーライターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落してください。粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

注意

気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けないでください。

落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。

ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

本機は精密機械です。静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。

濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

車から離れたときは、電源をOFFにしてください。使用しないときは電源をOFFにしてください。

使用上のご注意

必ずお読みください

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPS 測位機能がはたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによるダッシュボードおよび車両の変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 表示部に関する注意

- ・表示部を強く押ししたり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

■ シガープラグコードに関する注意

- ・シガープラグコードは、必ず同梱品をご使用ください。
- ・シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ（1A）と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。

■ 取り付けに関する注意

- ・GPS 衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉により GPS 衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・水がかかったり、熱風があたる場所には取り付けしないでください。
- ・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などに当たったり、はさまれないようにしてください。
- ・本機を道路に対して水平に、またレーダー / 無線アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、GPS 受信、レーダー / 無線受信が正しく動作しないことがあります。

■ microSD カードに関する注意

- ・microSD カードの出し入れは、本機の電源を OFF にした状態で行ってください。
- ・microSD カードは一方にしか入りません。無理に押し込むと、本機や microSD カードが壊れることがあります。

■ 無線 2 バンド受信機能に関する注意

- ・カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本機は、受信した無線音声聞くことはできません。
- ・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 2 識別は、はたらかません。

■ レーダーアラームに関する注意

- ・走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- ・狙い撃ちの取締り機（ステルス型取締り機）は、計測する瞬間だけ電波を放射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・レーダー波を使用しない速度取締り（光電管式など）の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。

■ GPS 測位機能に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・車載 TV を UHF56 チャンネルに設定していると、GPS 測位できない場合があります。UHF56 チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS 受信に悪影響を与えるためです。
- ・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS 警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・GPS 警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

■ 画面表示に関する注意

- ・GPS 測位が完了するまでは、「測位情報」を表示し、GPS 測位すると設定した待受画面を表示します。
- ・日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。（測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。）
- ・時刻の表示は、24 時間表示です。12 時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度や GPS ターゲットまでの距離、自転車アイコンは、GPS や VPS により計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時（発進直後を含む）は、速度表示を正しく表示しないことがあります。

■ 別売品の電源直結コードで接続した場合

- ・電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ（1A）と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

必ずお読みください

本書をお読みいただくにあたって

必ずお読みください

●本書はすぐに本機をご使用いただくための基本的な手順と、ご使用に伴って機能をカスタマイズしたい場合の手順を分けて記載してあります。

必ずお読みください P. 2

使用の準備 P. 13

取締りのミニ知識 P. 20

基本的な使い方 P. 22

レーダー探知機を初めて使う場合は、この部分をお読みください。

カスタマイズ P. 44

機能のカスタマイズが必要な場合は、こちらもお読みください。

ity. P. 48

ity. マップサービスと ity. データ更新サービスのご案内です。

その他 P. 49

「故障かな?と思ったら」が記載されています。例外的な手順はこちらをお読みください。

※説明のために差し支えない部分において、該当以外の機種種のイラストを使用している場合があります。

※本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。

本機について

必ずお読みください

GPS測位機能について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を放射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、46種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS46識別]

クイック測位

前回電源をOFFにした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置をすばやく測位することができます。



※ 次の場合、クイック測位は機能しません。

- ・最後に本機の電源をOFFにしてから48時間以上経過した場合。
- ・最後に本機の電源をOFFにした時と、次に電源をONにした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
- ・GPS波の受信を妨げる遮蔽物や妨害波がある(存在する)場所で本機の電源をONにした場合。

VPS(バーチャルポジショニングシステム)

GPSで、自車の進行状態を検知して、ルートのがずれを補正します。GPS非測位時には、VPS(バーチャルポジショニングシステム)が行う進行距離計算によって、より高精度な警告をすることができます。

受信可能な電波

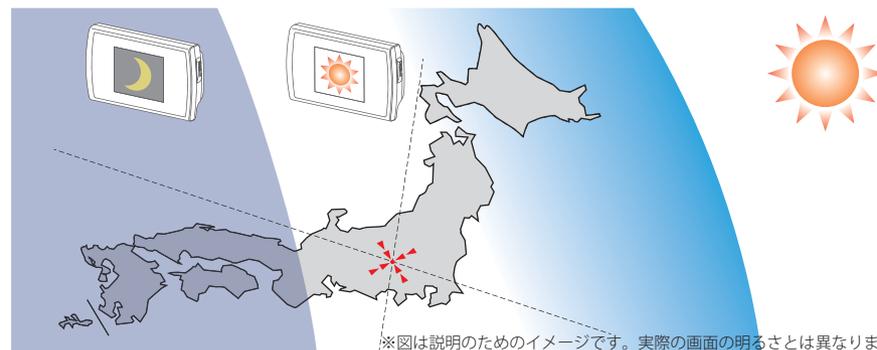
取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信ができます。

$$\boxed{\text{GPS}} + \frac{\boxed{\text{Xバンド}}}{\boxed{\text{Kバンド}}} + \boxed{\text{無線2バンド}} = \mathbf{5 \text{ BAND}}$$

画面の明るさ調節(フレックスディマー)

夜間は、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。

GPS情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。

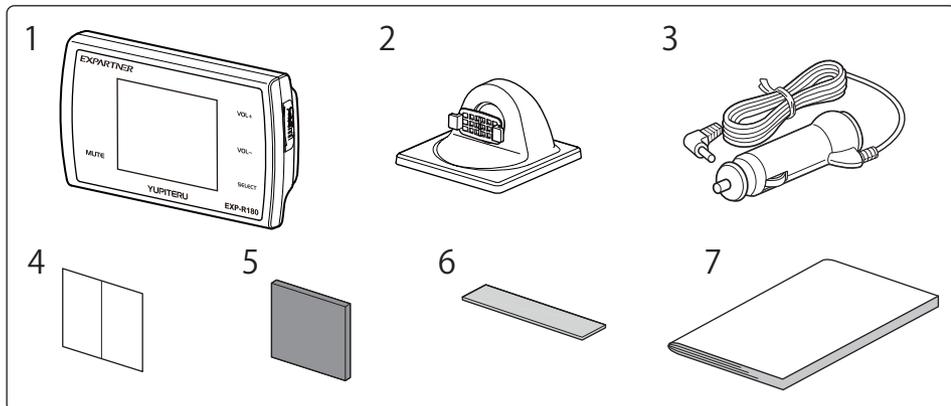


※図は説明のためのイメージです。実際の画面の明るさは異なります。

同梱品の確認

同梱品の確認をしてください

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。



番号	名称	説明
1	本機	EXP-R180本体です。
2	ダッシュボード取付け用ブラケット	本機を車両のダッシュボードに取り付けるためのブラケットで、取付角度を上下左右に調整できます。
3	電源スイッチ付シガープラグコード	車両のシガーライターソケットから本機に電源を供給するためのコードです。
4	粘着シート	粘着マット使用時にダッシュボードに貼り付きにくい場合に使用します。
5	粘着マット	ダッシュボード取付け用ブラケットをダッシュボードに固定します。
6	直付け用両面テープ	本機をダッシュボードに直接取り付ける場合に使用します。
7	取扱説明書・保証書(本書)	裏表紙が保証書になっています。 お買い上げいただいた販売店の店名・住所が記載されていることをご確認ください。記載されていない場合は、販売店に確認ください。

※紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

各部の名称と働き

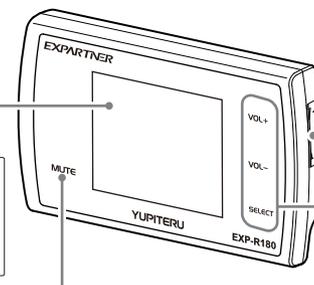
各部名称

本機

正面

1.8インチ 液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。



microSD カード挿入口

GPS データ更新を行う際に、microSD カードを挿入します。(▶19 ページ)

・microSD カードは別途ご購入ください。

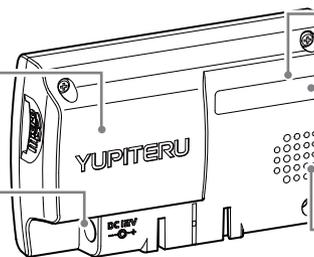
タッチスイッチ

本機を操作する時に使用します。

背面

レーダー / 無線アンテナ

取縮りレーダー波と各種無線信号電波を受信します。



GPS アンテナ

GPS 衛星からの電波を受信します。

シリアルナンバー

製造番号が印刷されています。

DC ジャック (12V 車専用)

シガープラグコードなどのプラグを接続します。

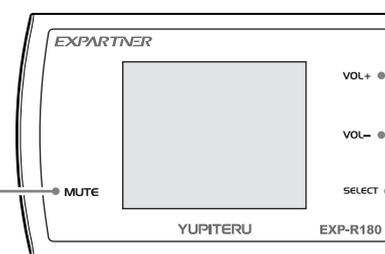
スピーカー

警告音などを出力します。

タッチスイッチ

ミュートボタン [MUTE]

ミュート (消音) するときや各種設定を行う時に使います。



アップボタン [VOL+]
音量を上げる時や、各種設定を選択するときに使います。

ダウンボタン [VOL-]
音量を下げる時や、各種設定を選択するときに使います。

セレクトボタン [SELECT]
待受画面の変更や、各種設定を行うときに使います。

別売品のご案内

電源直結コード(OP-4)



シガープラグコードのかわりに、車内のアクセサリ系端子から直接電源を取り出します。コードが目立たず配線をすることができます。

電源直結コード(OP-4)使用時は、下記製品は使用できません。

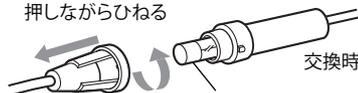
同梱品



シガープラグコード

■ヒューズの交換方法

押しながらひねる



交換時ヒューズを落下させないようにしてください。

交換用ヒューズ：管ヒューズ 1A (30mm×6.5mm)

取り付け(本機取り付け)

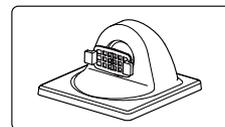
つづく

本機を使用する手順として「本機を取り付ける」「電源コードをつなぐ」の手順に従って説明します。

まず本機を取付けます。下記の2通りの取り付け方法があります。

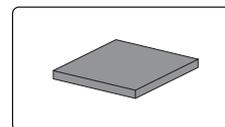
- ①ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける
 - ②直付け用両面テープでダッシュボードに直接取り付ける
- どちらかの方法で取り付けを行ってください。

①ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける



ダッシュボード取り付け用ブラケット

自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。[特許出願中]



粘着マット

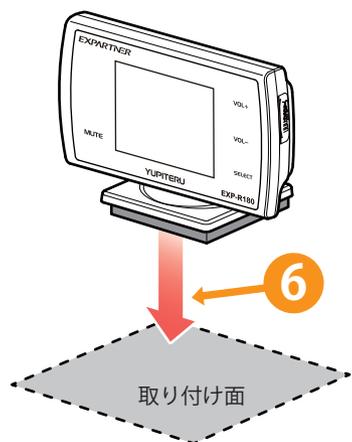
国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。



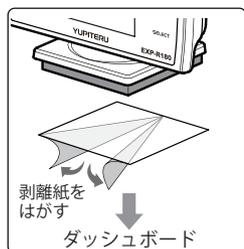
- 1 ダッシュボードの取り付け面にホコリや汚れがないことを確認してください。取り付け面は、なるべく平らで水平に近く、GPS電波を受信しやすい場所にしてください。
- 2 本機の溝をブラケットに合わせ取付けます。
- 3 保護シートを片面だけはがし、粘着マットをブラケットに貼り付けます。
- 4 シガープラグのDCプラグを本機に挿します。
- 5 残りの保護シートをはがします。

粘着マットは水洗いできます。

ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。



6 ダッシュボードの取り付け面に取り付けます。本機を破損しないようブラケットを押さえて貼り付けます。

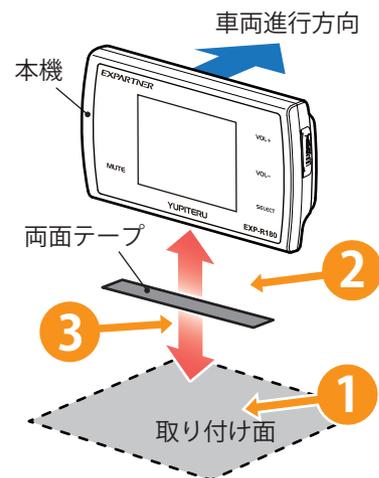


粘着シート[特許出願中]

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、同梱の粘着シートを使用します。ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、剥がして再度貼り付けることができます。

それでも安定した取り付けができない場合は市販の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し取り付けてください。

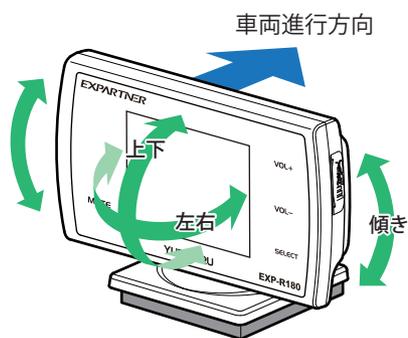
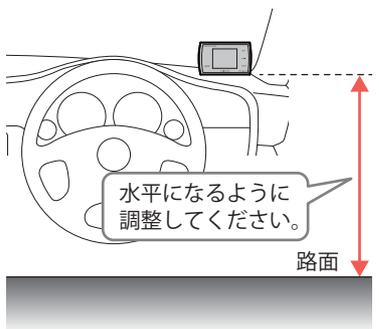
②直付け用両面テープでダッシュボードに直接取り付ける



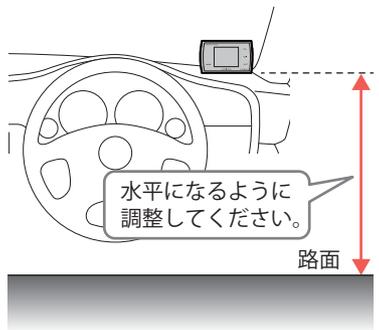
1 ダッシュボードの取り付け面にホコリ、汚れや脂分がないことを確認してください。取り付け面は、なるべく平らで水平に近く、GPS電波を受信しやすい場所にしてください。

2 直付け用両面テープの保護シートを片面だけはがして、本機の底面にしっかりと貼り付けてください。

3 直付け用両面テープの残った保護シートを剥がしてください。本機の背面を車両進行方向に向けて、水平な路面と平行になるように取り付けてください。取り付けをしたあと、剥がすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。



7 GPSアンテナやレーダー/無線アンテナが正しく動作するように、本機の背面が車両進行方向を向くようにし、画面が見やすいように調整してください。



⚠注意

- ❗ 取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ❗ ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ❗ GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

取り付け(電源コードの配線)

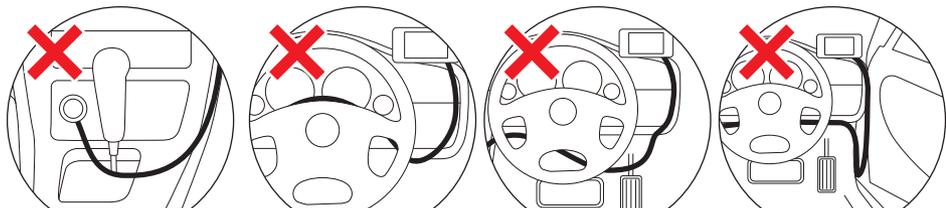
2種類の配線方法があります。同時に複数の配線を行うことはできません。



使用の準備

ご注意ください

- 特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。



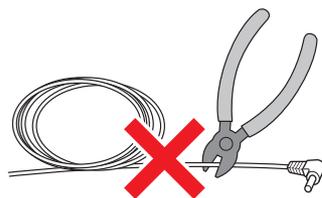
シフトレバー
操作の邪魔

ハンドル
操作の邪魔

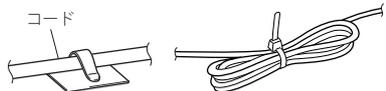
ペダル
操作の邪魔

コードの
挟み込み

- コードが長くても、切って短くしないでください。

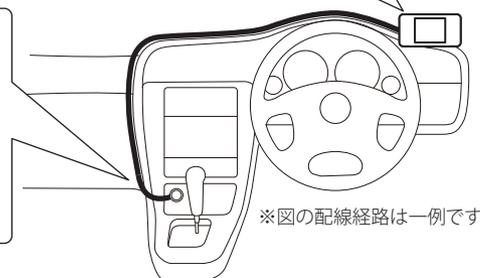
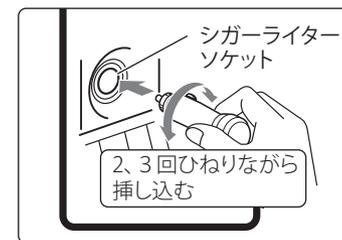
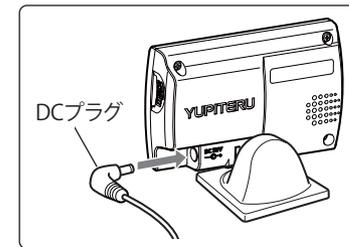
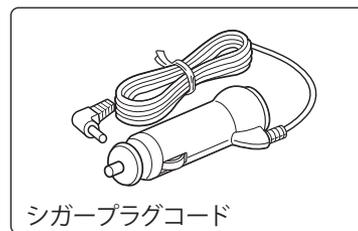


市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。



①シガープラグコードによる配線

同梱品



※図の配線経路は一例です。

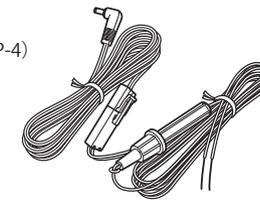
使用の準備

ご注意ください

- 一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わないことがあります。その場合は、別売品の電源直結コード(OP-4)をご使用ください。

別売品

電源直結コード(OP-4)



- ヒューズの交換方法

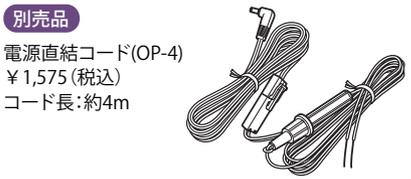
交換時ヒューズや部品を落下させないようにしてください。



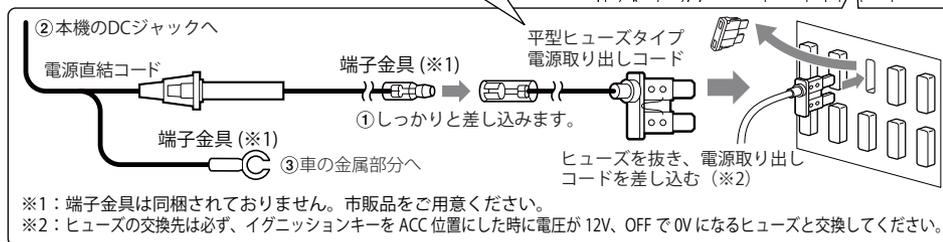
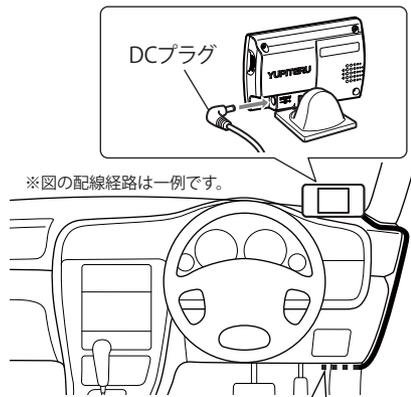
取り付け(電源コードの配線)

②電源直結コード(OP-4)による配線

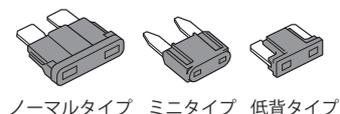
別売品



市販品

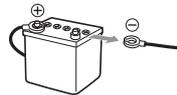


※ヒューズボックスから電源をとることができる「平型ヒューズタイプ電源取り出しコード(市販品)」を使用します。(ノーマルタイプ、ミニタイプ、低背タイプがありますので、あらかじめヒューズボックス内でサイズと容量をご確認の上、ご用意ください。)



警告

- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。



●電源直結コードのヒューズ交換方法

交換時ヒューズや部品を落下させないようにしてください。



microSDカードの出し入れ

ity.データ更新サービスをご利用の際にはmicroSDカードが必要です。

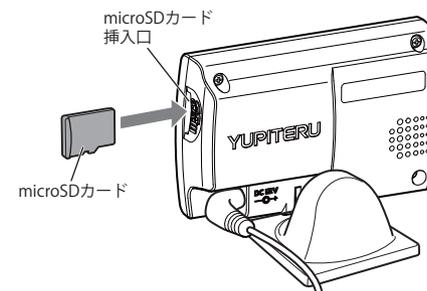
GPSデータ更新の際は、市販の2GB以下のmicroSDカードを別途ご用意ください。
※microSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

注意

- microSDカードの出し入れは、必ず電源がOFFの状態で行ってください。
- microSDカードは一方方向にしか入りません。microSDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。
- データ更新中は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。

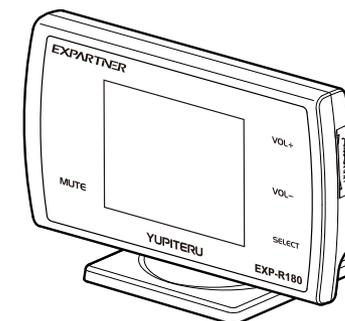
電源をOFFにしてmicroSDカード挿入口にmicroSDカードを『カチッ』と音がするまで差し込みます。

右図の向きに合わせて差し込んでください。



- microSDカードは本機専用でご使用ください。
- microSDカードを取り出す時は、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。
- microSDカードは、必ず取り外してご使用ください。
- microSDカードの接続や取り外しは、無理に差し込んだり引き抜かないでください。
- microSDカードを接続したままの状態や、半分挿入した状態でご使用にならないでください。
- microSDカードを取り外したあとは、各microSDカードの説明書の指示に従って大切に保管してください。

お疲れ様でした。
これで本機をお使いいただくための準備は終了です。



取締りのミニ知識

本書では取締り方法について、以下を想定して説明しています。

スピード違反の取締り方法

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

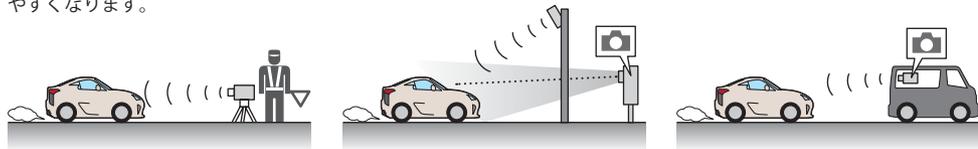
- 1. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)**
取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。
• 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。
- 2. 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)**
一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。
• この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。
- 3. 追走して測定する方法(追尾方式)**
指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。
• 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。



取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

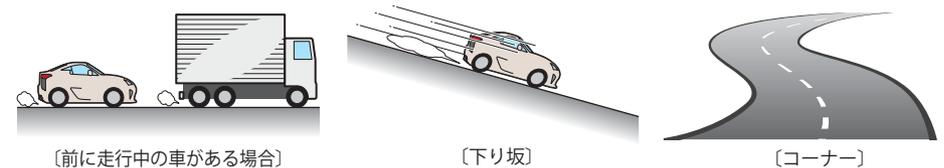
- 定置式**
人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。
- 自動速度取締り機(新Hシステム、レーダー式オービス)**
速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。
- 移動式**
測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。



取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

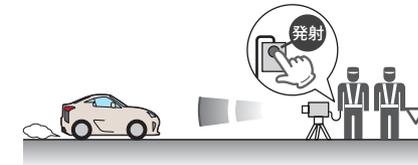
- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



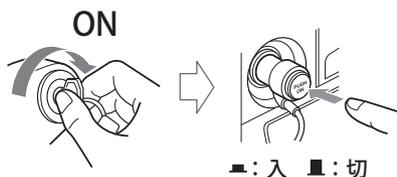
ステルス型取締りについて

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかつたり、警報が間にあわない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。



電源をONにする



オープニング画面

待受画面表示(例)



GPS ターゲット警報(例)



LH システム警報(例)



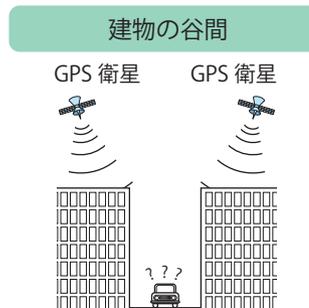
1 エンジンキーをONにし、シガープラグの電源スイッチを『ON』にします。

2 最初にオープニングアニメーションが表示されます。

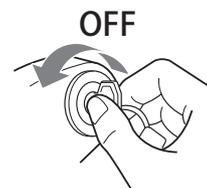
3 本機がGPS衛星を見つけると、画面が待受画面に変わります。必ず『測位しました。』のボイスを確認してから出発してください。本機の位置によっては、待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。※GPSを受信するまでは測位情報画面が表示されません。

測位に時間がかかることがあります

次のような場合、本機の電源を入れてから『測位しました。』と音声が出るまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。その場合は、障害物や遮蔽物のない視界のよい場所へ移動し、車を停車してください。



電源をOFFにする



車のエンジンキーをOFFにすると、本機の電源も連動してOFFになります。

エンジンキーをOFFにしても本機の電源がOFFにならない場合

車種によってエンジンキーをOFFにしても、本機の電源がOFFにならない場合があります。その場合は、シガープラグの電源スイッチを操作して電源をOFFにしてください。※バッテリー上がりの原因となります。



警告

⚠ 本機の電源をOFFにするためにコードを抜くと、故障の原因となる場合があります。本機の電源をOFFにするときは、必ずエンジンキーをOFFにするか、シガープラグの電源スイッチを操作して電源をOFFにしてください。

音量の調節



[VOL+]、[VOL-]ボタンで音量を調整できます。『ピッ』という確認音で音量を確認してください。

VOL7(最大)からさらに[VOL+]ボタンをタッチすると、『ブツ』と鳴ります。

マナーモード

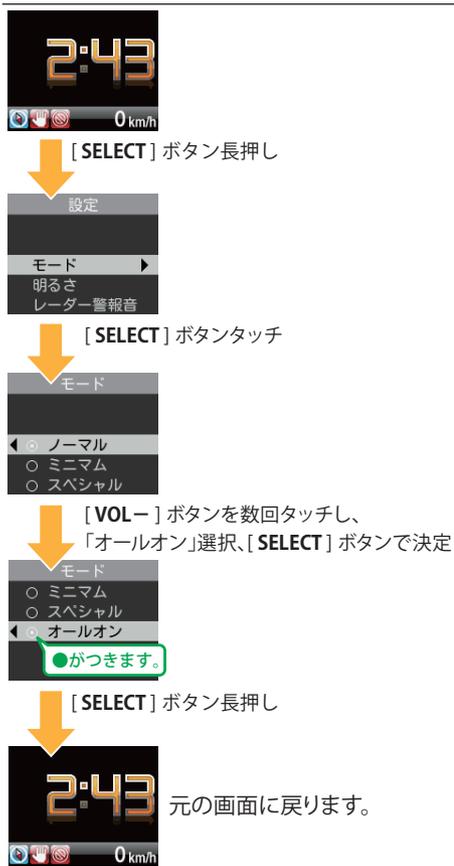
マナーモードに入ると、約2秒後に画面表示が消え、音声および画面によるすべての警報が行われなくなります。

VOL0(消音)からさらに[VOL-]ボタンを押すと、マナーモードになります。元に戻すには、[VOL+]ボタンを押してください。

すべての機能を使う

オールオンモードの設定

本機のすべての機能を使用できます。
※初期設定は、ノーマルモードになっています。



このオールオンモードでお使いいただき、必要に応じてモードを変更することができます。
(▶45ページ)

設定終了～出発

本機のすべての機能(オールオンモード)を使う設定が完了しました。なお、ここまでの設定は、1度行えば、次回の電源ON以降は必要ありません。

『測位しました。』とボイスが流れてから出発してください。



現在の設定概要は次のようになっています。

モード設定：オールオン	警報できるすべての取締りレーダーおよびGPSターゲットに対して警報画面が表示され、それにとまう音声の流れます。
待受画面：時計	時計が表示されます。
レーダー警報音：ボイス	警報の発生時、ボイスでお知らせします。
Iキャンセル：ON	誤警報を行うと、同じ地点の2回目以降の警報を自動でキャンセルします。OFFにすることはできません。
明るさ：ふつう	画面の明るさ。「最小」～「明るい」間の「ふつう」になっています。
時報：ON	毎時、正時に『午前(午後)〇〇時です』と音声の流れます。OFFにすることはできません。

待受画面

警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は、5種類および「ローテーション」と「OFF」が用意されています。

待受画面を変更する時は、[SELECT]ボタンをタッチします。
待受画面が順番に切り替わります。

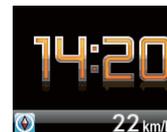


- ・ 初期設定は、「時計」に設定されています。
- ・ 日付および時刻は、GPS測位機能により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。
- ・ 測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。
- ・ 時刻の表示は、24時間表示です。
- ・ 走行速度はGPSの情報に基づき表示しています。車両の速度計は、数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
※車両の速度計とは一致しません。
※補正機能はありません。

各待受画面の説明

時計

現在時刻を表示します。

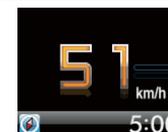


※画面下部に速度を表示します。GPS非測位になると速度が表示されません。

- 時刻合わせは自動でおこなわれますので、時刻合わせは必要ありません。
※GPSの受信状況により合わない場合があります。

速度

車両の速度を表示します。



※画面下部に時計を表示します。

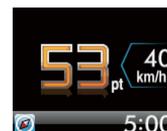
※速度が上がるにつれて、右側の目盛りが増えていきます。



- 速度の数値はGPS波を受信して表示しています。トンネル内などGPS波を受信できない場所では速度の表示は0km/hになります。

エコドライブ

急加速、急減速、アイドリング時間、経済速度などからエコポイントを算出し、表示します。右に速度を表示します。GPS非測位になると速度は0km/hになります。



※画面下部に時計を表示します。

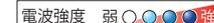
- GPSの受信により、ポイントを算出します。走行データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。
※実際の交通規制に従って走行してください。
※設定初期化を行うとポイントがリセットされます。

測位情報

GPSの受信状況を表示します。



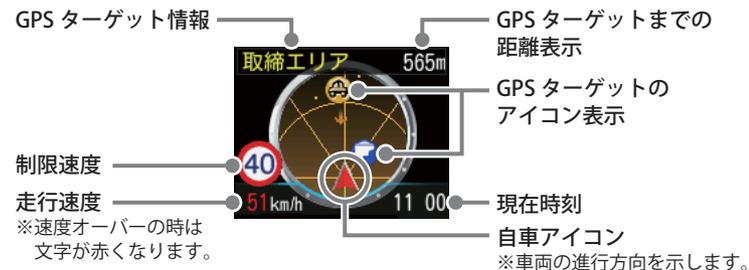
※画面下部に時計を表示します。



- GPS波を受信している衛星の、衛星ナンバーと受信レベルを表示します。
※衛星ナンバーとは、衛星に割り当てられたナンバーです。

レーダースコープ

現在地付近の本機に登録されたGPSターゲットに近づくと、現在地との位置関係をイメージで表示し、お知らせします。



- ・ 制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。
- ・ 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、ずれることがあります。
- ・ 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやVPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・ GPS電波を受信できなくなった場合、現在時刻表示が赤色になり、速度が表示されなくなります。
- ・ 画面上に地図・地名・道路・建物等は表示しません。

アイコン表示について

画面下部にさまざまなアイコンを表示します。



※図は説明のためのアイコン表示です。実際の表示とは異なります。
 ※レーダースコープ画面では表示されません。

No	表示名	アイコン	表示の意味
①	方位磁針表示		GPS測位後に表示し、走行すると赤色の針が北方向を指します。 (停車状態のままでは針が青色で動きません。)
②	GPSサーチ中表示		電源をON後にGPS測位するまでの間や、測位した後一定の間GPS電波を受信できなくなった場合に点滅表示します。
③	カーロケ近接受信表示		カーロケ無線の近接受信時と圏内判定中に点滅表示します。
④	取締・検問エリア表示		取締エリア、検問エリア内で点滅表示します。
⑤	駐車禁止監視エリア表示		駐車禁止監視エリア内で表示します。 左：駐禁最重点エリア、右：駐禁重点エリア。
⑥	車上狙い多発エリア表示		車上狙い多発エリア内で表示します。
⑦	ミュート表示		ミュート機能が作動中に表示します。
⑧	時計表示		現在の時刻を表示します。また、待受画面を「時計」にしている場合は、速度表示になります。

GPSターゲットアイコン一覧

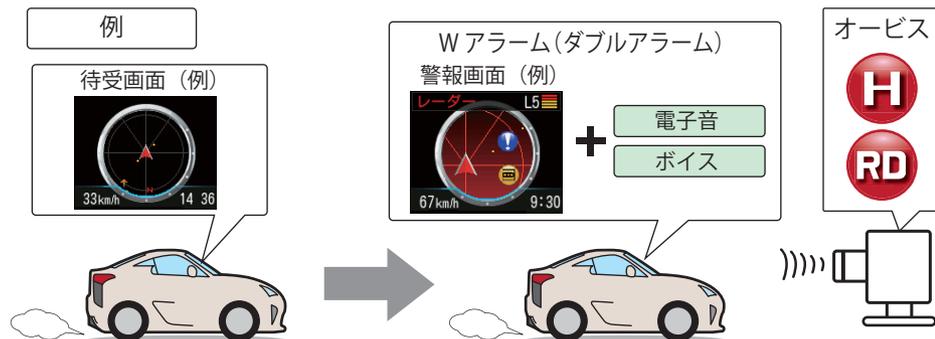
GPSターゲットのアイコン表示は、緊急度の高い順に「赤」→「黄」→「青」→「緑」の4色に識別して表示します。

色	ターゲット	アイコン表示
赤色	ループコイル	
	LHシステム	
	新Hシステム	
	レーダー式オービス	
黄色	ネズミ捕りエリア	
	移動オービスエリア	
	追尾式取締エリア	
	一時停止取締エリア	
	交差点取締エリア	
	その他取締エリア	
	シートベルト検問エリア	
	飲酒検問エリア	
	携帯電話検問エリア	
	その他検問エリア	
	交差点監視ポイント	
	信号無視抑止システム	
高速道 交通警察隊		

色	ターゲット	アイコン表示
青色	Nシステム	
	交通監視システム	
	警察署	
	事故多発エリア	
	交番	
緑色	サービスエリア	
	パーキングエリア	
	ハイウェイオアシス	
	高速道 長/連続トンネル	
	ハイウェイラジオ受信エリア	
	道の駅	
	ビューポイントパーキング	

取締りレーダー波を受信すると・・・

取締りレーダー波を受信した場合、画面に警告を表示しWアラームで警報します。



Wアラーム(ダブルアラーム)

音(電子音/ボイス)と画面表示のダブルで警報します。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびエクストラの高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

接近テンポアップ

取締りレーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。

取締りレーダー波発信源との距離	
電子音	『ピロ・ピロ』 → 『ピ-----』 断続音から連続音に変化します。
受信レベル表示	L1 → L5 レーダー波の受信レベルが変化します。

オートクワイアット

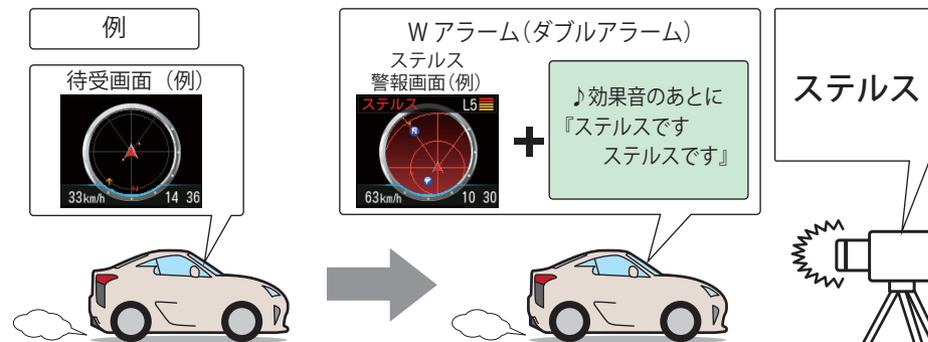
レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

ミュート機能

警報中に[MUTE]ボタンを押すと、受信中の電波が受信できなくなるまで警報音を一時的に消すことができます。

ステルス波を受信すると

画面上部に警報の情報が表示され、同時に専用の警報ボイスで警告します。



『ステルスです ステルスです』と警報したあと、通常の警報音(ボイス、電子音)の警報になります。

レーダー波3識別(iDSP)について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal ProcessingTechnology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル(47ページ)により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

[ステルス識別]

[アイキャンセル：特許第3902553号、第4163158号]

• iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。



• レーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
• 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

GPSターゲットに接近すると・・・

GPSターゲット警告

本機に登録されたGPSターゲットに近づくと、画面上部にGPSターゲット情報が表示され、先にあるGPSターゲットを前もって知ることができます。待受画面の「レーダースコープ」ときは、自車位置とターゲットの位置を画面上で確認できます。

(例) 時計

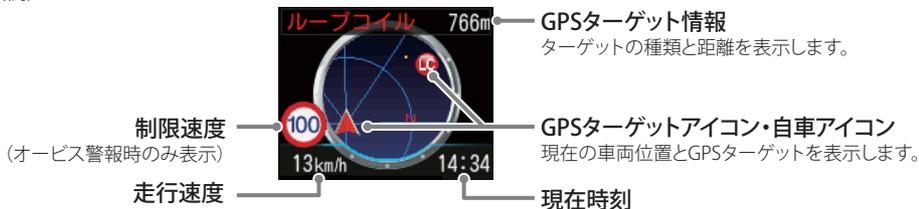


GPSターゲット情報
ターゲットの種類と距離を表示します。

現在時刻

走行速度

(例) レーダースコープ



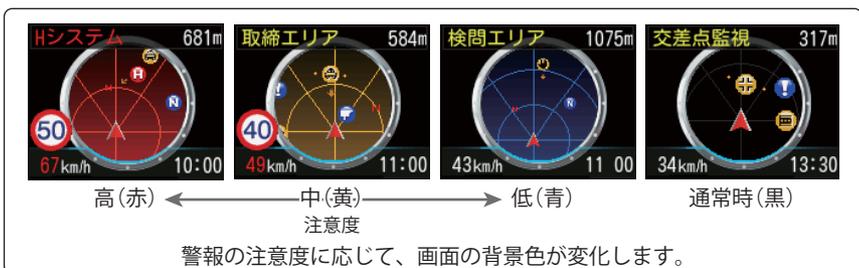
GPSターゲット情報
ターゲットの種類と距離を表示します。

GPSターゲットアイコン・自車アイコン
現在の車両位置とGPSターゲットを表示します。

制限速度
(オービス警報時のみ表示)

走行速度

現在時刻



高(赤) ← 中(黄) → 低(青) 通常時(黒)
注意度

警報の注意度に応じて、画面の背景色が変化します。

- 制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。
- 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、誤差を生じることがあります。
- 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやVPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- GPS非測位時、走行速度は表示しません。
- 本機は自車周辺のすべてのGPSターゲット警告を行います。高速道、一般道の切り替えや固定はできません。

警報ボイスについて

つづく

左右方向識別ボイス



この画面のイラストは説明用です。実際の画面とは異なります。

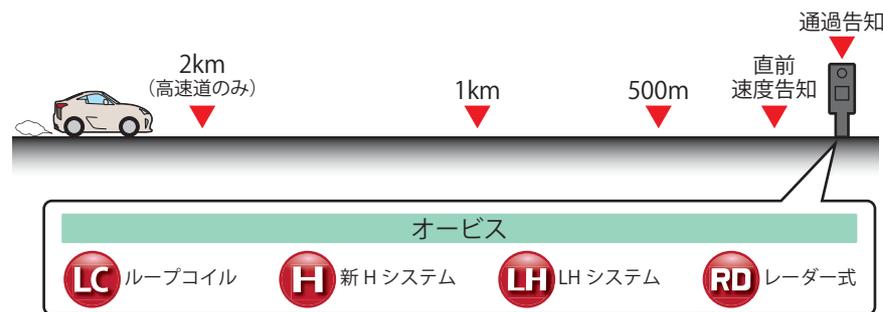
GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

- ・『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ・ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。

高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、『高速道』とボイスでお知らせします。

オービス5段階警報



● 警報音(ボイス)によるお知らせ(例)

距離およびタイミング	お知らせ例	お知らせ条件
手前約2km(高速道のみ)	『2km先 高速道 LHシステムです』	車両の現在速度が走行路線の制限速度を超えている場合にお知らせします。
手前約1km	『1km先 高速道 LHシステムです』	GPSの受信状況により、『すぐ先』とお知らせすることがあります。
手前約500m	『500メートル先 高速道 LHシステムです』	
直前速度告知	『走行速度は60キロ以下です』	車両の現在速度をお知らせするもので、走行路線の制限速度ではありません。
通過告知	『通過します』	

※このオービス5段階警報は、トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスに対しては機能しません。

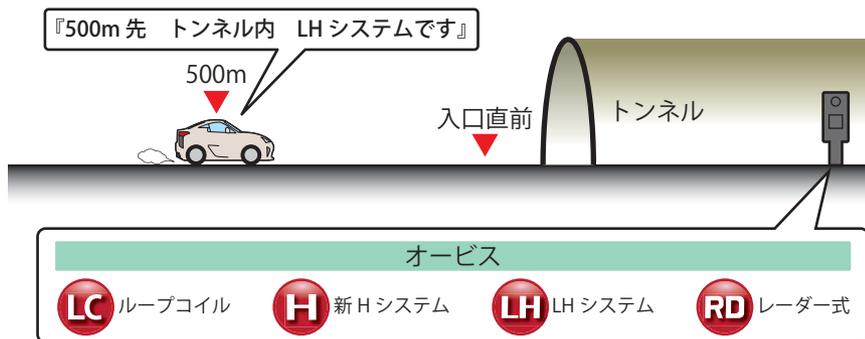
基本的な使い方

基本的な使い方

トンネル内オービス

トンネルの中ではGPSの電波が受信できないため、従来はトンネル内に設置されているオービスを警報できませんでした。本機では、トンネルの約500m手前と入口直前の2カ所(※)で、トンネル内のオービスを警報画面とボイスでお知らせします。

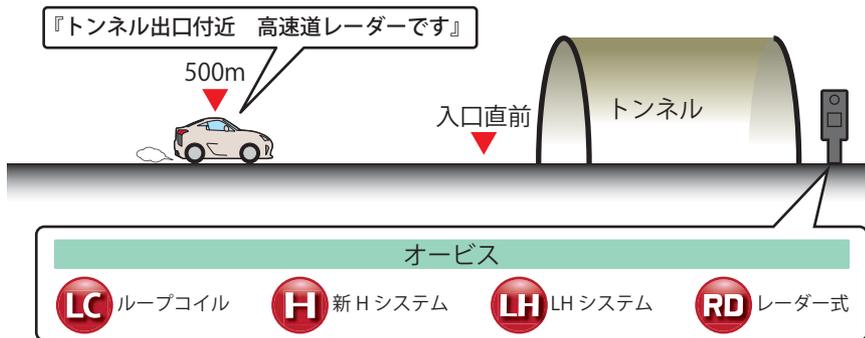
※GPS測位または地理的な状況によっては、1カ所だけの警報になります。



トンネル出口ターゲット

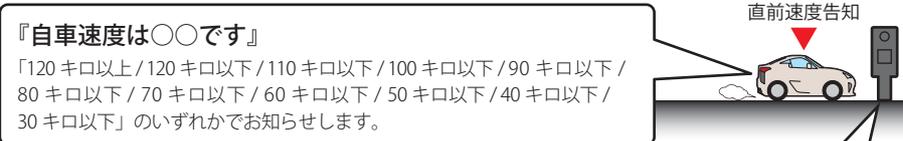
トンネルの中ではGPSの電波が受信できないため、出口付近に設置されているオービスを警報できませんでした。本機では、トンネルの約500m手前と入口直前の2カ所(※)で、出口付近のオービスや道の駅などを警報画面とボイスでお知らせします。

※GPS測位または地理的な状況によっては、1カ所だけの警報になります。



直前速度告知

オービス直前での車両の現在速度をお知らせします。



※走行速度はGPSの受信状況により、実際の速度と異なる場合があります。
 ※トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスに対しては、直前速度告知を行いません。

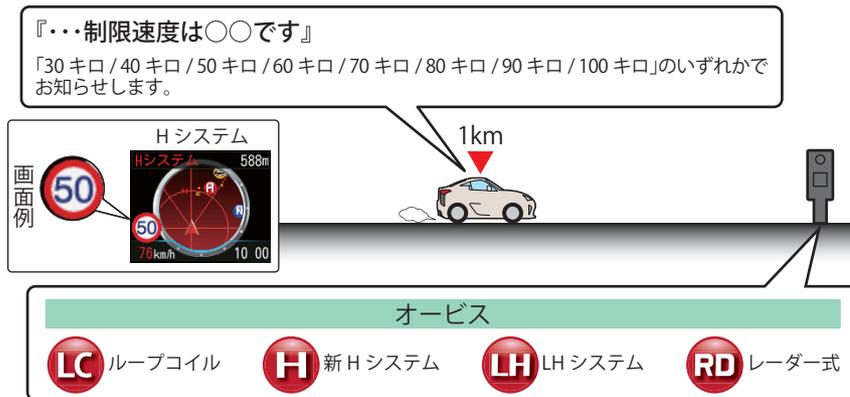
通過告知

オービスの撮影ポイントなどの通過をお知らせします。

※走行速度はGPSの受信状況により、実際のオービス直下ではなく、通過前や通過後にお知らせする場合があります。
 ※トンネル内オービス、トンネル出口ターゲットはGPSの電波が受信(測位)できないため、ターゲット通過告知がはたらきません。

制限速度告知

約1km手前のオービス警報や取締エリア内の警報に続けて、走行中の道路の制限速度をお知らせします。



※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応していません。状況に応じた制限速度で走行してください。
 ※トンネル出口ターゲットや制限速度が本機に登録されていない場合は、告知しません。

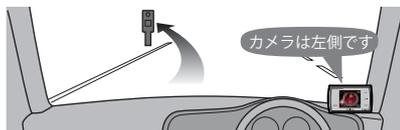
基本的な使い方

基本的な使い方

カメラ位置告知

約500m手前のオービス警報に続けて、オービスのカメラ位置をお知らせします。

『カメラは〇〇です』
「右側 / 左側 / 中央」のいずれかでお知らせします。



※トンネル出口ターゲットに対しては、カメラ位置告知をしません。

制限速度切替告知 (高速道路のみ)

高速道路への進入ポイント、パーキングエリア、サービスエリアなどの出口ポイントや高速道路から別の高速道路へのジャンクションで、高速道路本線の制限速度をお知らせします。

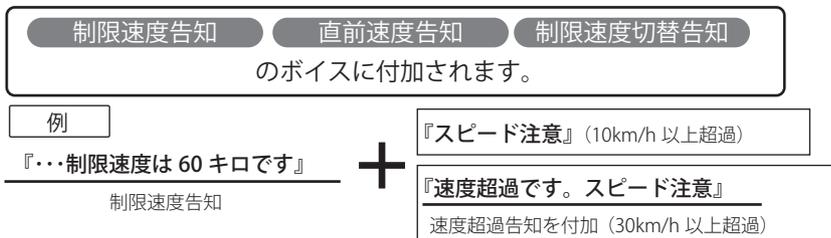
『高速道 制限速度は〇〇です』
「40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ」
のいずれかでお知らせします。



※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。

速度超過告知

「制限速度告知」、「直前速度告知」、「制限速度切替告知」を行う際に、車両の現在速度が制限速度を超えているときに、『スピード注意』または『速度超過です。スピード注意』のボイスが付加されて流れます。



※走行速度はGPSの受信状況により、実際の速度と異なる場合があります。
※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。

取締エリア

過去に取締りなどが行われていた場所が登録されています。取締の登録ポイントから約1km手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの3段階でお知らせします。



※取締りの種類(定置式取締り、移動式取締り、追尾式取締り、一時停止取締り、交差点取締り)についての音声のお知らせはありません。
※一部の取締りエリアでは、約1km手前のお知らせを行いません。
※「トンネル内追尾式取締りエリア」と「トンネル出口直後ネズミ捕りエリア」から出た場合は、『取締りエリア外です。』のお知らせは行いません。
※一時停止取締りエリアの警告は、取締りエリアに進入したときのみ行います。
※取締りエリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に取締りが行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

検問エリア

過去に検問などが行われていた場所が登録されています。検問の登録ポイントから約1km手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの3段階でお知らせします。



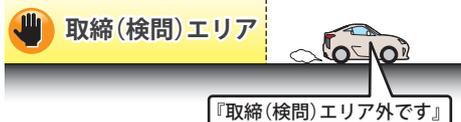
※検問の種類(シートベルト検問、飲酒検問、携帯電話検問)についての音声のお知らせはありません。
※本機に登録されている検問エリアは、過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。

基本的な使い方

基本的な使い方

取締・検問圏外識別

取締エリアまたは検問エリアから出た時にお知らせします。



※本機に登録されている取締・検問エリアは、過去のデータに基づいています。お知らせを行ったエリア外でも取締・検問を行っている場合があります。

交差点監視ポイント

本機に登録されている、過去に検問が行われた交差点から約300mに接近するとお知らせします。



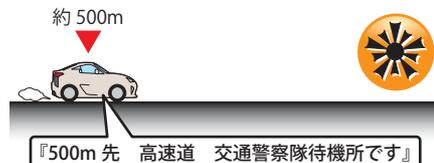
信号無視抑止システム

信号無視抑止システムから約300mに接近するとお知らせします。



高速交通警察隊

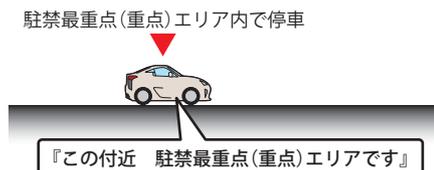
高速道交通警察隊の待機所から約500mに接近するとお知らせします。



※GPSの受信状況により、距離の告知『500m先』が『すぐ先』になる場合があります。

駐禁監視エリア

本機に登録されている違法駐車取締りガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車すると、お知らせします。



エヌ(N)システム

エヌ(N)システムから約300mに接近するとお知らせします。

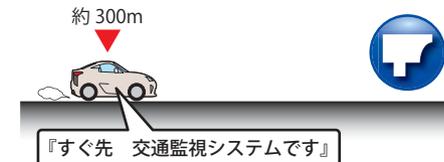
※Nシステム：自動車ナンバー読み取り装置



交通監視システム

交通監視システムから約300mに接近するとお知らせします。

※交通監視システム：画像処理式交通流計測システム



警察署

警察署から約500mに接近するとお知らせします。



※GPSの受信状況により、距離の告知『500m先』が『すぐ先』になる場合があります。

交番

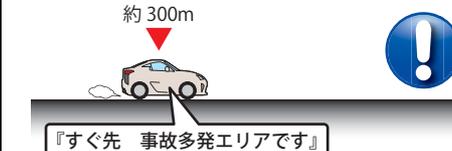
交番から約500mに接近するとお知らせします。



※GPSの受信状況により、距離の告知『500m先』が『すぐ先』になる場合があります。

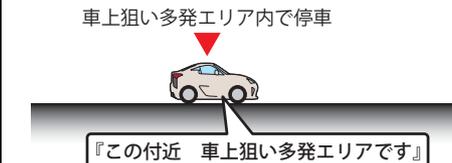
事故多発エリア

本機に登録されている、過去に事故が多発したエリアの約300mに接近するとお知らせします。



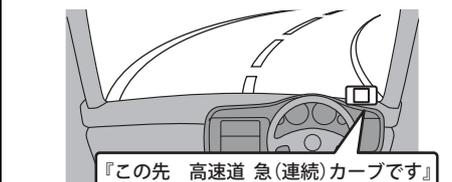
車上狙い多発エリア

本機に登録されている車上狙い多発地域内で停車すると、お知らせします。



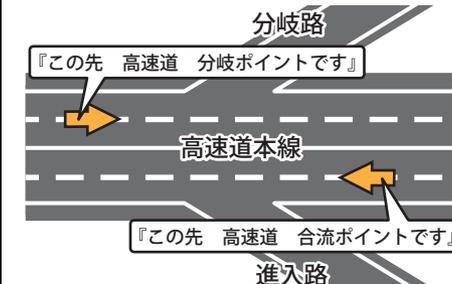
急(連続)カーブ(高速道路のみ)

高速道路の急(連続)カーブにさしかかると、お知らせします。



分岐(合流)ポイント

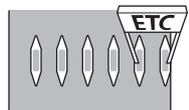
高速道路の分岐(合流)ポイントにさしかかると、お知らせします。



※GPSの受信状況により、インターチェンジ出口走行中に、本線の分岐を告知することがあります。

ETCレーン

ETCのある料金所にさしかかると、ETC用レーンの位置をお知らせします。



『ETCレーンは右側(左側、中央、両サイド)です』

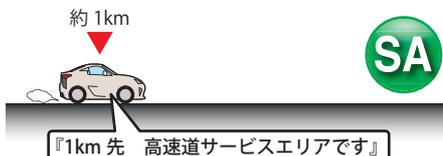
※ETCレーンの位置によって「右側/左側/中央/両サイド」でお知らせします。

※実際の料金所ブースの配置と説明イメージが異なる場合があります。その場合は、実際の標識等にしたがって進入してください。

※交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応していません。目安としてお考えください。

サービスエリア(高速道路のみ)

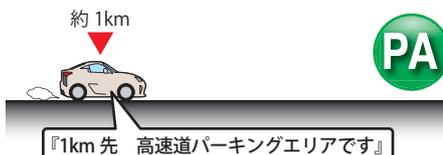
サービスエリア入口(本線分岐点)から約1kmに接近するとお知らせします。



『1km先 高速道サービスエリアです』

パーキングエリア(高速道路のみ)

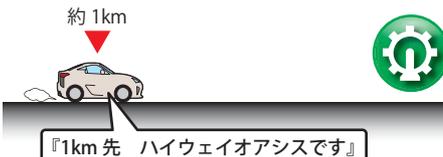
パーキングエリア入口(本線分岐点)から約1kmに接近するとお知らせします。



『1km先 高速道パーキングエリアです』

ハイウェイオアシス

ハイウェイオアシスから約1kmに接近するとお知らせします。



『1km先 ハイウェイオアシスです』

スマートインターチェンジ

スマートインターチェンジがあるサービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシスから約1kmに接近するとお知らせします。



(例)『1km先 高速道サービスエリアです
スマートインターチェンジです』

※サービスエリア、パーキングエリアおよびハイウェイオアシスのお知らせをOFFに設定すると、スマートインターチェンジのお知らせも行いません。

SA/PA内ガステーション(高速道路のみ)

ガステーションがあるサービスエリア、パーキングエリアから約1kmに接近するとお知らせします。また、本機にブランド名が登録されている場合は、ブランド名もお知らせします。



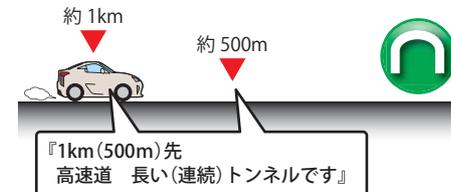
(例)『1km先 高速道サービスエリアです
ガステーションがあります』
+ 『ガステーションは〇〇(ブランド名)です』
※本機にブランド名が登録されている場合

※サービスエリア、パーキングエリアのお知らせをOFFに設定すると、ガステーションのお知らせも行いません。

アドバイス サービスエリアにスマートICとガステーションの両方がある場合は両方を続けてお知らせします。

長い(連続)トンネル(高速道路のみ)

長い(連続)トンネルから約1km(500m)に接近するとお知らせします。



『1km(500m)先
高速道 長い(連続)トンネルです』

ハイウェイラジオ(高速道路のみ)

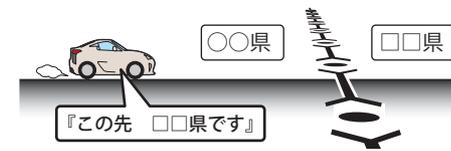
ハイウェイラジオ受信エリアに接近するとお知らせします。



『高速道 ハイウェイラジオ受信エリアです』

県境(高速道路および主要一般道路のみ)

県境に接近するとお知らせします。

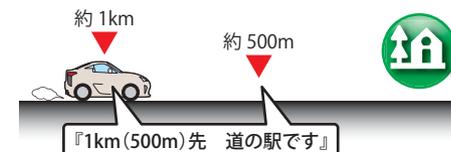


『この先 〇〇県です』

※すべての道路の県境が登録されているわけではありませんので、あらかじめご了承ください。

道の駅

道の駅から約1km(500m)に接近するとお知らせします。



『1km(500m)先 道の駅です』

各種無線電波を受信すると・・・

GPS + Xバンド/Kバンド + 無線2バンド = 5 BAND

本機は、取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信ができます。

無線発信源の位置を表示することはできません。

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締りに関係する無線が発信されていることを警報します。

1. 無線2バンド受信機能

カーロケ無線(カーロケーターシステム)



「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。

- ※カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。
- ※カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。
- ※受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。

『カーロケ近接受信です』
『カーロケ遠方受信です』
『カーロケ圏外です』※
※カーロケ無線の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

取締無線



スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。これが取締り無線です。本機は、それを受信することにより、近くで取締りが行われていることを警報します。

※無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。

『取締無線です』

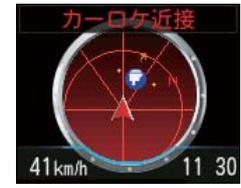
2. ベストパートナー2 識別

カーロケ無線(407.7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。【圏外通知】【特許 第3780262号】

- カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。
- モード(☛45ページ)を「ノーマル」「スペシャル」「オールオン」のいずれかにします。
- モードが「ミニマム」の状態では、ベストパートナー機能がはたしません。
- 新システムへの移行により、カーロケ無線が受信しない地域では、ベストパートナー2 識別は、はたしません。

種々の無線を受信すると・・・

カーロケ遠近識別



『カーロケ近接受信です』

緊急車両などが遠方のときや近接している可能性が高いとき



『カーロケ遠方受信です』

カーロケ圏外識別



『カーロケ圏外です』

カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

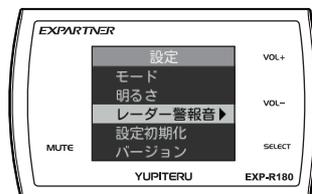
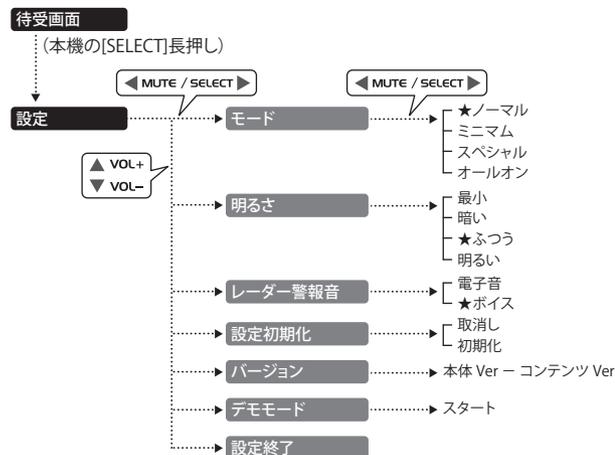
- 警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー2 識別機能ははたしません。

基本的な使い方

基本的な使い方

設定

待受画面で、本機の[SELECT]を長押しすると設定メニューが表示されます。
変更したい項目を、本機の[SELECT]タッチで選択すると各種設定が変更できます。



<モード>

次ページ以降を参照ください。

<明るさ>

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつう」「明るい」の4段階で切り替えることができます。

<レーダー警報音>

レーダー波受信時の警報を、電子音がボイスで選択できます。

<設定初期化>

「アイキャンセル」「エコポイント」のデータを消去・クリアし、すべての設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。「エコポイント」は70ptに戻ります。

- いったん消去・クリア・初期化すると、元に戻せませんのでご注意ください。
- 本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

<バージョン>

本体バージョン(ソフトウェアのバージョン)とコンテンツバージョン(登録されているGPSデータ情報)が表示されます。

<デモモード>

レーダー受信やGPS警報などの音声や画面表示を実演できます。

- スタートを選択するとデモモードが始まります。
- デモモード中に本機を操作するとデモモードは終了します。

<設定終了>

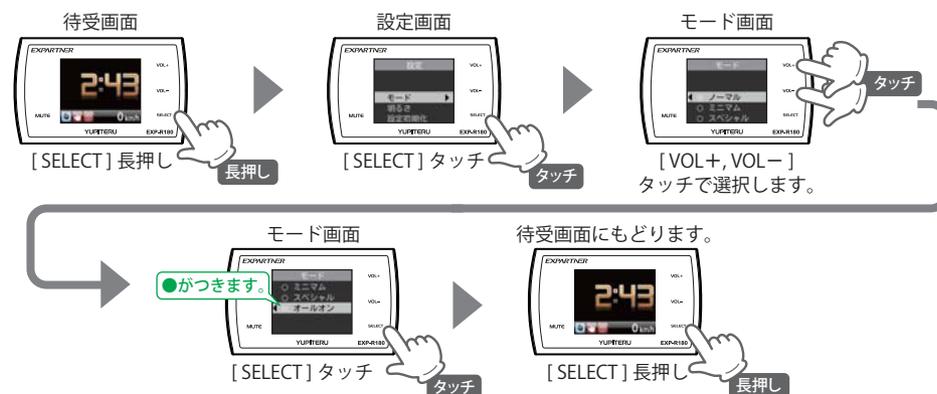
設定メニューを終了し、待受画面に戻ります。

モード

本機には、プリセットが以下の4種類用意されています。お好みに応じて変更してください。
初期設定は「ノーマルモード」に設定されています。

- ノーマルモード** バランスを重視した内容に設定されています。
- ミニムモード** 最低限の項目だけをONに設定します。
- スペシャルモード** 取締りに関する項目を重視した内容に設定されています。
- オールオンモード** すべての機能をONに設定します。

モードの変更方法



モード設定内容

●レーダーの設定

	画面表示	ノーマルモード	ミニムモード	スペシャルモード	オールオンモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				
アイキャンセル	キャンセル L5	ON	ON	ON	ON	47
反対キャンセル		ON	ON	OFF	ON	47

●無線の設定

	画面表示	ノーマルモード	ミニムモード	スペシャルモード	オールオンモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				
カーaoke無線	カーoke近接	ON	OFF	ON	ON	42
取締無線	取締無線	ON	OFF	ON	ON	42

●GPSの設定

	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				
オービス	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	33
直前速度告知	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	35
制限速度告知	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	35
カメラ位置告知	LC LH H RD	ON	ON	ON	ON	36
制限速度切替告知		ON	ON	ON	ON	36
速度超過告知		ON	ON	ON	ON	36
取締エリア	STOP 車 歩 自転車	レベル3以上	OFF	ON	ON	37
検問エリア	人 手 車	レベル3以上	OFF	ON	ON	37
交差点監視ポイント	+	OFF	OFF	ON	ON	38
信号無視抑止システム	信号機	OFF	OFF	ON	ON	38
高速交通警察隊	警察	ON	OFF	ON	ON	38
駐禁監視エリア		ON	OFF	ON	ON	38
Nシステム	N	OFF	OFF	ON	ON	39
交通監視システム	交通	OFF	OFF	ON	ON	39
警察署	警察	OFF	OFF	ON	ON	39
交番	交番	OFF	OFF	OFF	ON	39
事故多発エリア	!	OFF	OFF	ON	ON	39
車上狙い多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	39
急カーブ		OFF	OFF	ON	ON	39
分岐合流ポイント		OFF	OFF	ON	ON	39
ETCレーン		OFF	OFF	OFF	ON	40
SA(サービスエリア)	SA	OFF	OFF	OFF	ON	40
PA(パーキングエリア)	PA	OFF	OFF	OFF	ON	40
ハイウェイオアシス	OA	OFF	OFF	OFF	ON	40
スマートIC	SA PA OA	OFF	OFF	OFF	ON	40
ガソリンスタンド	SA PA	OFF	OFF	OFF	ON	40
トンネル	トンネル	OFF	OFF	OFF	ON	41
ハイウェイラジオ	ラジオ	OFF	OFF	OFF	ON	41
県境		OFF	OFF	OFF	ON	41
道の駅	道の駅	OFF	OFF	OFF	ON	41
ビューポイントパーキング	ビューポイント	OFF	OFF	OFF	ON	41

<アイキャンセル>[特許 第3902553号、第4163158号]

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。登録数は10,000カ所まで可能です。10,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

アイキャンセルのしくみ

- ① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
- ② 取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]

Before

After

・キャンセル中の画面

レーダー波の受信レベル

- GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- 自動登録したエリアは、電源をOFFにしても記憶されています。
- 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「設定初期化」(P.44)を行ってください。

<反対キャンセル>(反対車線オービスキャンセル機能)

GPSデータに登録されている新Hシステムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。

反対車線オービスキャンセル中の画面



今すぐ地図表示サービス(無料)

レーダー探知機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図を表示します。

- ・通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ・バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- ・一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

●今すぐ地図表示サービスの流れ

必ず、車を止めてから操作してください。

① 本機の[MUTE]ボタンを長押しして、QRコードを表示させる。



② バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。



携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。



- ・表示部にQRコードを約1分間表示します。
- ・表示中は、移動してもQRコードは変わりません。
- ・GPS非測位のときは、QRコードは表示できません。
- ・戻るときは、[MUTE]ボタンを押してください。
- ・表示させたまま1分間経過すると、自動的に直前の画面に戻ります。

ity.データ更新サービス

パソコンでのダウンロード、microSDカードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスでGPSターゲットデータの更新を行っていただけます。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/gps/index.html>

パソコンでのダウンロード、microSDカードをお送りするお届けプランをご利用の際は、ity.クラブにご入会ください。入会手続きは下記ホームページから行っていただけます。

◆ity.クラブホームページアドレス

<http://www.yupiteru.co.jp/ityclub/index.html>

電話でのお問い合わせは下記フリーコールをお願いします。

◆ユピテルity.クラブ窓口 受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日 ~ 金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

0120-998-036

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	: DC 12V (マイナスアース車専用)	受信周波数	: [GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF部] 336~470MHz帯
消費電流	: 待機時: 120mA以下(無線OFF時) 最大: 250mA以下	動作温度範囲	: -20℃~+85℃ (UHF部: -10℃~+60℃)
受信方式	: [GPS部] 16チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スweepオシレーター式ダブルスweep パーヘテロダイン方式	外形寸法	: [本機] 78(W)×47(H)×18(D)mm (突起部除く)
測位更新時間	: 最短 1秒	重量	: [本機] 約65g
表示部	: 液晶ディスプレイ 1.8インチ		

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTMや®などの記号を記載しない場合があります。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

故障かな？

電源が ON にならない

- シガープラグの電源スイッチが ON になっていますか。 ➡22
- シガープラグコードが外れていませんか。 —
- シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良をおこしていませんか。
2～3回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込み直してください。 —
- シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量の新しいヒューズと交換してください。 ➡17

電源が OFF にならない

- シガーライターソケットの電源が、イグニッションの ON/OFF と連動して ON/OFF しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、シガープラグの電源スイッチで電源を OFF にしてください。 ➡23

何も表示しない

- 「マナーモード」になっていませんか。
本機の「VOL+」をタッチして解除してください。 ➡24
- 待受画面の設定が「OFF」ではありませんか。[SELECT] ボタンを押して待受画面を変更してください。 ➡26

音が出ない

- 音量「0」になっていませんか。音量を調節してください。 ➡24

速度表示が車両の速度計と異なる

- 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
※補正機能はありません。 —

警報がおかしい？

レーダー警報しない

- 電源が入っていましたか。 ➡22
- 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 ➡20
- アイキャンセルされていませんか。 ➡47
- 「マナーモード」になっていませんか。
本機の「VOL+」をタッチして解除してください。 ➡24

GPS 警報しない

- GPS 測位していましたか。 ➡22
- 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。 —

警報がおかしい？ (つづき)

取締りもしていないのに警報機能がはたらく

- 取締りレーダー波と同じ電波が他にも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 —

取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器
電波式の自動ドア、防犯センサー / 信号機の近くに設置されている車両通過計測器 / NTT のマイクロウェーブ通信回路の一部 / 気象用レーダー、航空レーダーの一部 / 他のレーダー探知機の一部
まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

警報の途中で警報音が小さくなる

- レーダー波の受信が約 30 秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット) ➡30

一般道を走行中に高速道のターゲットを GPS 警報する

- 本機は自転車周辺の GPS ターゲットすべてを警報します。
高速道、一般道の切り替えはできません。 —

ひんぱんに無線警報する

- 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。 —

取締り現場なのに 350.1MHz を受信しない

- 「モード」を「ミニマム」に設定していませんか。「ミニマム」では取締り無線の警報を行いません。 ➡45
- 取締り現場での接続が無線方式で行われていましたか。
接続には 350.1MHz の電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。 ➡42

誤警報がキャンセルされない

- GPS 測位していましたか。 ➡22
- 新 H システムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 —
- 取締エリアではありませんか。 —